

開催概要

■開催概要

日 時：平成29年12月17日（日）

11時開場、13時開演、16時30分終演予定

会 場：京都コンサートホール 大ホール（京都市左京区下鴨半木町1-26）

■主 催

文化庁、京都府、京都府高等学校文化連盟

■特別後援

公益社団法人全国高等学校文化連盟

■後 援（予定）

京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、関西広域連合、京都府公立高等学校長会、
京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会

■内 容

全国高校生伝統文化フェスティバルー第1回伝統芸能選抜公演ー

○郷土芸能部門 五所川原第一高等学校（青森県）「津軽三味線」

岩手県立岩泉高等学校「中野七頭舞」

富山県立南砺平高等学校「越中五箇山民謡」

島根県立浜田商業高等学校「石見神楽」

岐阜県立岐阜総合学園高等学校「和太鼓」

○日本音楽部門 東京都立狛江高等学校「箏曲」、土佐女子高等学校（高知県）「箏曲」

○吟詠剣詩舞部門 宮城県高等学校文化連盟吟詠剣詩舞専門部「吟詠剣詩舞」

出演団体の紹介

【郷土芸能部門（伝承系）】

あお もり きあい
 〈津軽三味線組曲「青い森の喜哀」〉

ごしょがわらだいいち

五所川原第一高等学校 津軽三味線部

来年創立70周年を迎える津軽平野のほぼ中央に位置する高校。「明朗・協調・進取」を校訓に、進学や資格取得、部活動に積極的に取り組んでいる。津軽三味線部は、平成12年より活動を続け、平成28年、29年には津軽三味線全日本金木大会団体中高生の部とともに準優勝を果たしている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 出場 (H27)

なかのななずまい

いわいずみ

〈中野七頭舞〉岩手県立岩泉高等学校 郷土芸能同好会

創立74周年を迎えた山間の小規模な高校。日本三大鍾乳洞の龍泉洞や恐竜化石を産した茂師海岸を有する自然豊かな環境で、自然や文化を貴ぶ心とグローバルな視野を育む取組を行っている。郷土芸能同好会は、故郷に伝わる魅力ある舞を多くの人に広め、後輩に継承することを目標に日々精進して活動に取り組んでいる。平成26年にはフランスのパリで演舞を披露するなど実績を積み、舞の発信に努めている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 優良賞 (H28)
 文化庁長官賞 (H26)



★五所川原金木地区で原型が築かれた津軽三味線は、高度な技術が盛り込まれた音楽として発達しました。津軽と南部の民謡のアレンジやオリジナル曲を交えた組曲です。合奏ならではの掛け合いや重奏、リズムカルな演奏と表現力に注目してください♪



★岩泉町小本（おもと）地区に受け継がれてきた伝承芸能であり、役割（道具）が七つに分かれ、舞も七種類あり、原野を開墾し、作物を植え、害獣から守り、収穫を分かち合う農民の日々の営みを演じます♪

えっちゅうごかやまみんよう

〈越中五箇山民謡〉

なんとたいら

富山県立南砺平高等学校 郷土芸能部

世界遺産で有名な合掌造り集落のある越中五箇山にある高校。地元民謡保存会から指導を受け、日々練習に励んでいる。地元のお祭りや福祉施設での公演はもちろん、倉敷音楽祭やみちのく芸能祭り、日韓交流お祭りなど県外の公演にも出演し、地元に伝わる民謡の保全と伝承に貢献している。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 文部科学大臣賞 (H26)



★多くの民謡が語り継がれる越中五箇山。日本最古の民謡といわれる「こきりこ」では素朴なおおらかに、平家の落人伝説に基づいた民謡「麦屋節」では笠踊りを歯切れよく、踊ります♪

いわみかぐら おろち

〈石見神楽「大蛇」〉

はまだ

島根県立浜田商業高等学校 郷土芸能部

島根県教育委員会から郷土芸能部門の文化推進校として指定された高校であり、平成17年に創部。石見神楽が自然への祈りや感謝の気持ちから大切に継承されてきた郷土芸能であることを学び、県内外に発信している。全国高総文祭には創部から12年間で10回の参加を果たし、平成18年、19年には韓国でイベントに出演、平成24年には島根県の古事記編纂1300年観光PRのために東京公演にも出演するなど県内外で活動を行っている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 出場 (H28/H27)



★石見神楽には古事記・日本書紀を原拠とする神話ものも含まれ、演目も豊富で極めて多彩です。代表演目「大蛇」では、須佐之男命(すさのおのみこと)と大蛇の迫力ある合戦を演じます♪

【郷土芸能部門（和太鼓）】

さんが ひびき せいりゅう
 〈山河の響～清流の国から～〉
 ぎふそうごうがくえん

岐阜県立岐阜総合学園高等学校 太鼓部

岐阜県南部の濃尾平野に位置し、「自主・創造・友愛」を校訓に掲げる高校。地域の行事や幼稚園、小学校、中学校や市町村などで幅広く公演活動を行うなど、地域との交流を大切にしている。全国高総文祭では県代表として18回の出場を果たすなど、さらなる飛躍を目指して日々励んでいる。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 優良賞 (H28)
 文化庁長官賞 (H27)

【日本音楽部門】

あ お こまえ
 〈箏曲「紺碧く」〉 東京都立狛江高等学校 箏曲部

多摩川の畔の豊かな自然に囲まれた、創立45周年を迎える高校。全校生徒の9割が部活動に所属し、学校行事も含めた高い次元での文武両道をモットーとする。

全国高総文祭には、都代表として通算20回出場している。姉妹校であるオーストラリアからの留学生や海外からの来訪者に向けた演奏、体験活動を行うなど、多様な活動を行っている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭日本音楽部門 優良賞 (H28)
 文化庁長官賞 (H26)



★和を強調する笛の音色と笛の体系から、山々を照らす朝日の神々しさや、山河を彩るつぼみの開花を表現。山河の自然と偉大さを無限の可能性を秘めた青春のエネルギーで力強く演奏します♪



★指で弾くピチカートや絃を箏の面に当てるバルトークなどの多様な奏法により、迫力ある力強いフレーズから美しい音色まで表現します。一音一音心を込めて演奏します♪

ゆきさんたい とさじよし

〈箏曲「雪三態」〉土佐女子高等学校 邦楽部

高知城を臨む創立115年目の中高一貫の女子高校。昭和11年に創部され、現在は中学校・高校合わせて43名の部員が活動している。平成28年度は、地元のイベントや校内行事などで演奏する一方、国際交流文化体験にて琴指導を行うなど、精力的に活動を展開している。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭日本音楽部門 優良賞 (H28)



★箏・17絃と6パートによる小協奏曲のような形式で、子どもたちの眼から見たロマンあふれる雪の世界を表現します♪

【吟詠剣詩舞部門】

だてまさむね

〈構成吟「伊達政宗」〉 宮城県高等学校文化連盟吟詠剣詩舞専門部

平成29年8月の「第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）」に向けて2年前に結成された。古川黎明高等学校愛好会が活動の中心となり、日々練習に励み、昨年度は「2016ひろしま総文」などへ出演した。その他、地域の発表会等に参加するなど積極的に活動をしている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭吟詠剣詩舞部門 出場 (H28)



★宮城県の戦国時代を代表する武将、伊達政宗公は、詩歌にも堪能で歌人としての一面がありました。政宗公の詠んだ詩歌を吟じ、心を込めて舞います♪